



BEPPU UNIVERSITY

令和4年度

卒業生アンケート調査結果報告書

令和4年9月7日

別府大学

2022 年度 卒業生アンケート

はじめに

平成 30 年度にアセスメント・ポリシーの一環として、別府大学教育への「卒業生調査による『卒後評価』」を把握するため、聴き取りによる卒業生アンケートを実施し、その結果をホームページ上に公開しています。

昨年に続いて 5 回目となる令和 4 年度の卒業生アンケートは 2015 年度、2017 年度、2019 年度の卒業生を対象に実施いたしました。

その結果、依頼に対して 110 件の回答が得られました。今回の調査は、学科ごとの DP 達成度などを測るには十分な標本数とはなりませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた卒業生の皆様には、感謝申し上げます。

卒業生アンケート実施目的

大学におけるカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を検討するとともに、社会へ出る卒業生に必要な社会人力と、専門課程での学びを結び、大学の教育の成果を測定するとともに、今後必要となるプログラム開発に資する目的で本調査を実施する。

1. アンケート実施方法

2022 年度の卒業生アンケートは、2015 年度、2017 年度、2019 年度の卒業生、973 名を対象として実施した。

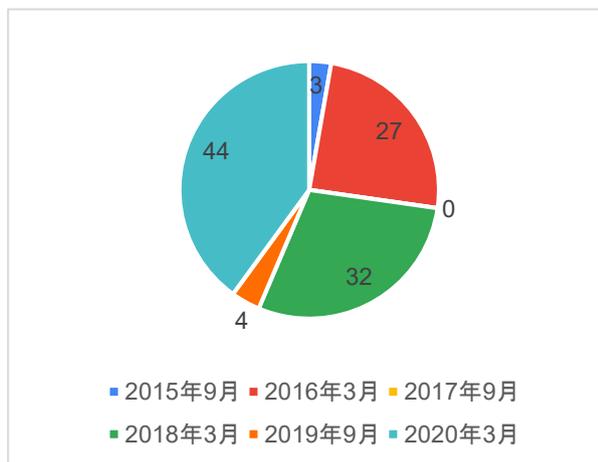
卒業生アンケートへの回答依頼は、回答依頼文書の郵送により実施した。

アンケートの実施は令和 4 年 8 月 3 日（水）～8 月 17 日（水）として、インターネット上に設置したアンケートへの回答により求めた。

2. 結果

総回答数 110 件を分析の対象とした。

110 件の内訳は 2015 年 9 月卒業生 3 名、2016 年 3 月卒業生 27 名、2017 年 9 月卒業生 0 名、2018 年 3 月卒業生 32 名、2019 年 9 月卒業生 4 名、2020 年 3 月卒業生 44 名であった（図 1）。また、6 学科の各卒業年度における回答数を表 1 に示した。



学科\年月	2015年9月	2016年3月	2017年9月	2018年3月	2019年9月	2020年3月
国際言語・文化学科	1	6	0	6	1	3
史学・文化財学科	0	9	0	11	1	11
人間関係学科	0	4	0	4	0	6
食物栄養学科	2	7	0	4	1	15
発酵食品学科	0	0	0	4	0	5
国際経営学科	0	1	0	3	1	4

表 1. 6 学科における卒業年度別回答者数

「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いに対する学科別の回答比率を集計し、図 2 に示した。学科における学びの満足度ではおおむねすべての学科で、普通まででとどまる傾向があったが、人間関係学科、食物栄養学科においてわずかながら満足できていないとする回答が見られた。大変満足している、満足しているまでの比率では、史学・文化財学科、次いで発酵食品学科、国際経営学科の順となった。

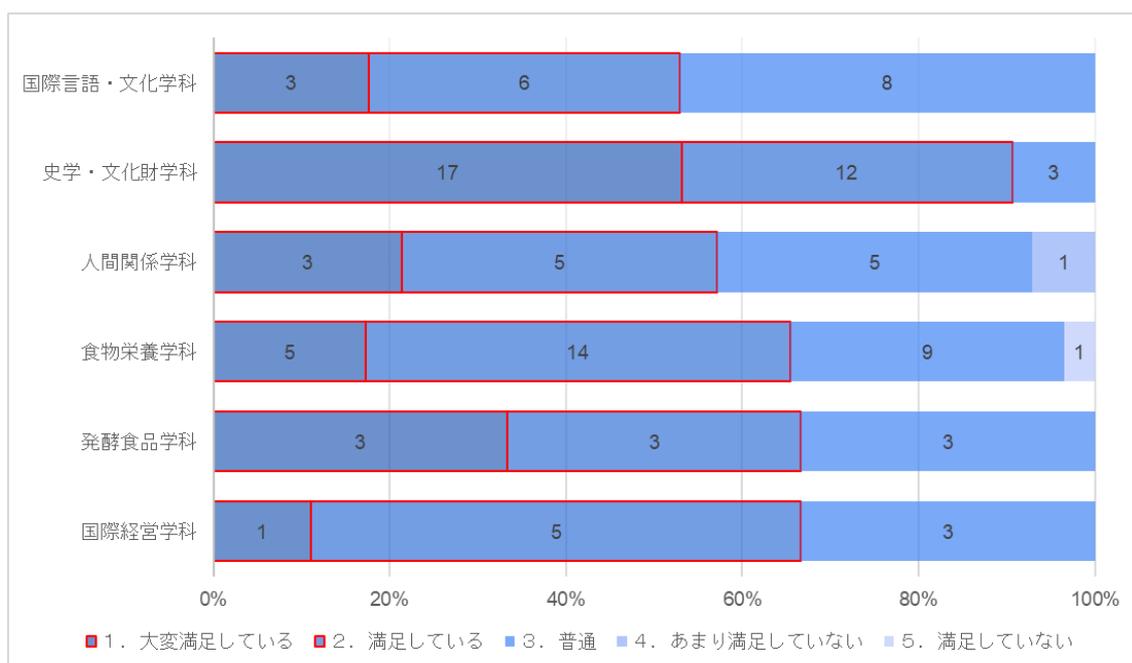


図 2. 「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」

「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、各学科で集計した結果を図3に示した。

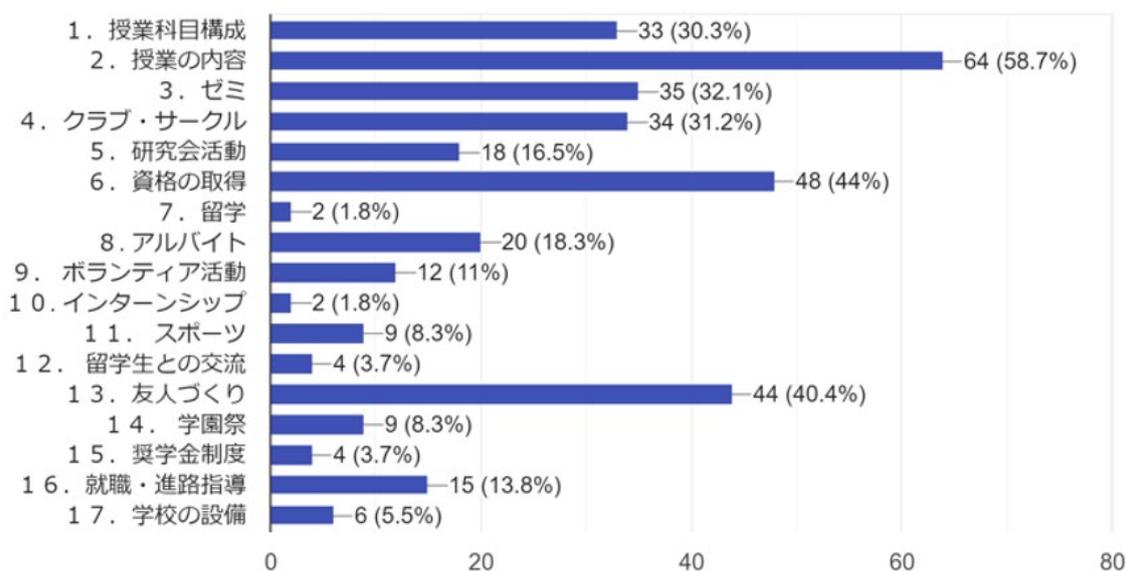


図3. 「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生の選択した別府大学で学んでよかったところとして、授業の内容が特に多くの卒業生からの選択項目となった。またそれについて、資格の取得や友人づくりなどが選ばれ、次にはゼミが選ばれた。自由回答では、先生方との交流や海外研修などが挙げられた。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、全体集計した結果を図4に示した。

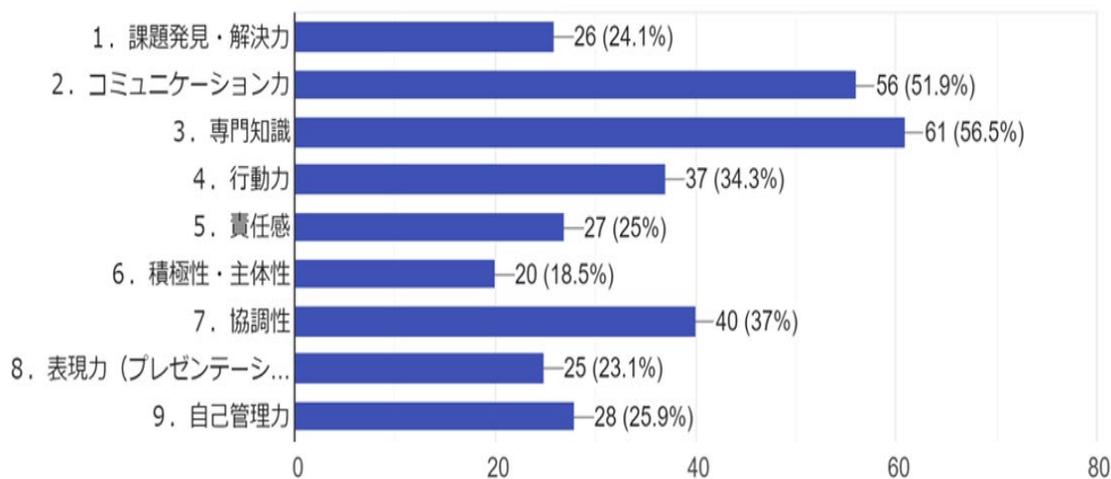


図4. 「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生の多くは大学の学びにおいて、専門知識に関する知識・能力の向上を認識しているという結果が示された。さらにコミュニケーション能力や協調性といった集団における行動様式の向上が実感されている結果となった。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」について、全体集計の結果を図5に示した。

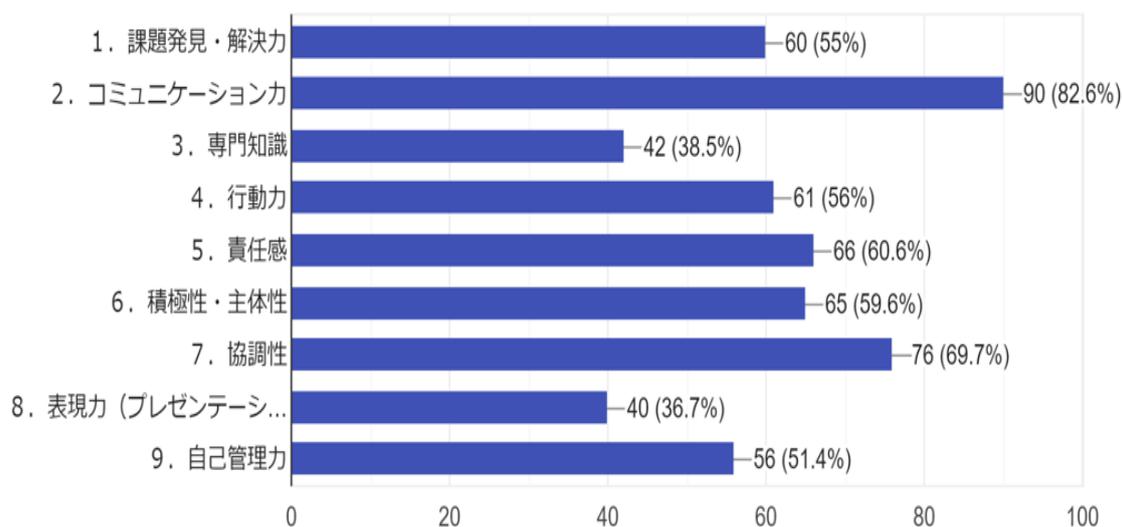


図5. 「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生は就職してから社会で必要な能力として、コミュニケーション力を第1に挙げ、次いで協調性となっている。また、責任感や積極性・主体性や行動力が重要と考えている。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」への回答を全体集計したものを図6に示した。

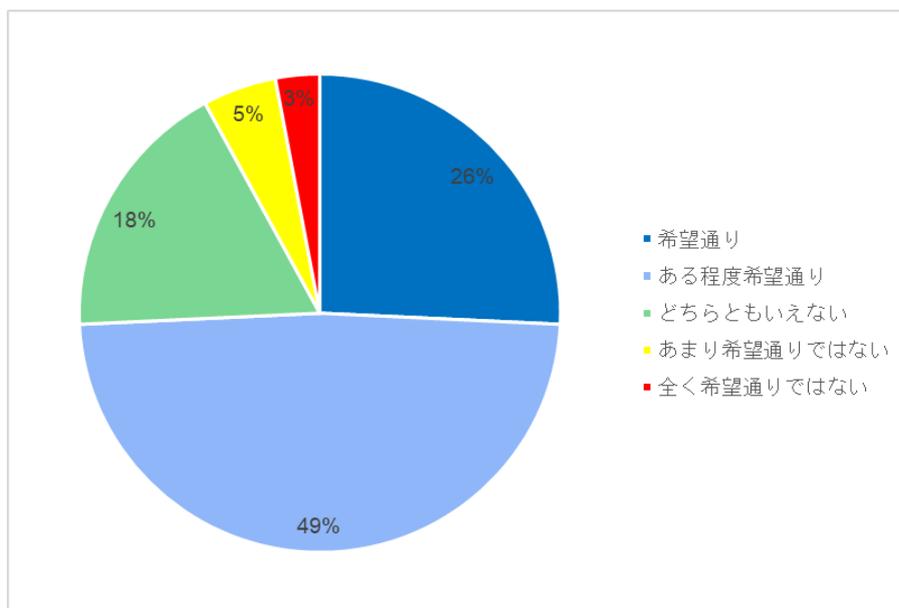


図6. 「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」の全体集計

卒業後の進路については、全体の75%の卒業生がある程度希望通りに進路を進めている一方、8%の卒業生で希望通りにはいかなかったとしている。

6. 大学での教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の学びについて（1）～（5）の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答（1）～（5）の集計結果を図7に示した。

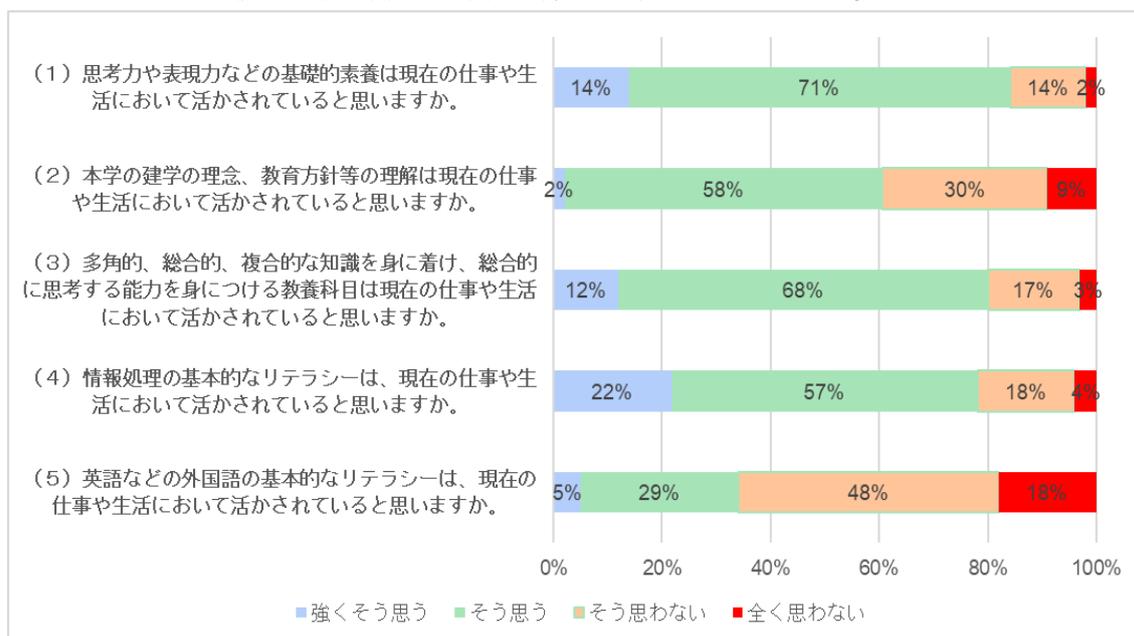


図7. 「6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについての質問」の全体集計

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが14%（15人）、3. そう思うが71%（77人）、2. そう思わないが14%（15人）、1. 全く思わないが2%（2人）の結果となった。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが2%（2人）、3. そう思うが58%（63人）、2. そう思わないが30%（33人）、1. 全く思わないが9%（10人）の結果となった。

(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身につけ、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが12%（13人）、3. そう思うが68%（74人）、2. そう思わないが17%（19人）、1. 全く思わないが3%（3人）の結果となった。

(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが22%（24人）、3. そう思うが57%（62人）、2. そう思わないが18%（20人）、1. 全く思わないが4%（4人）の結果となった。

(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが5%（5人）、3. そう思うが29%（32人）、2. そう思わないが48%（52人）、1. 全く思わないが18%（20人）の結果となった。

7. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）の学びについて（1）、（2）の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答（1）、（2）の集計結果を図8に示した。

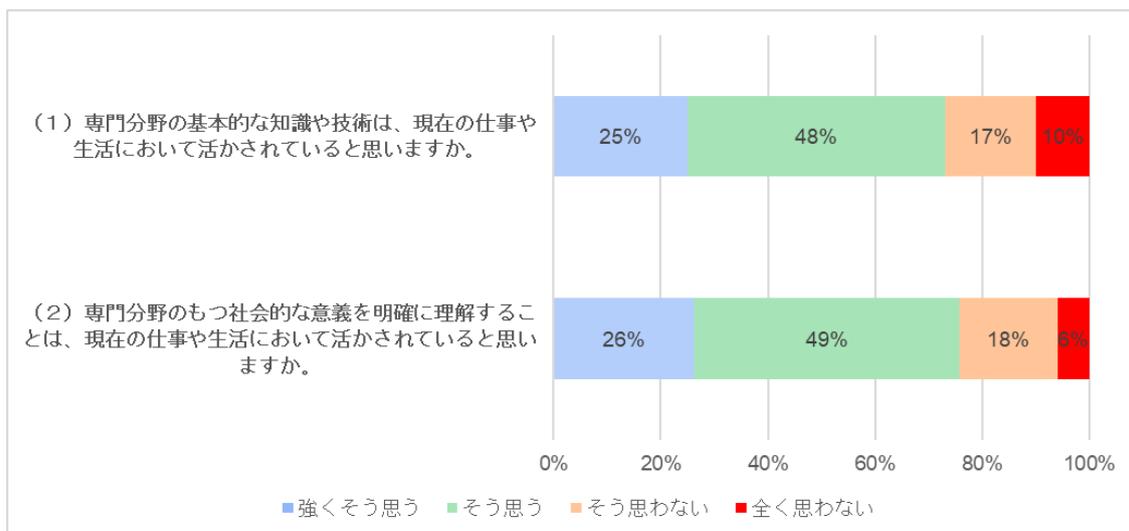


図8. 「7. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）の学びについての質問」の全体集計

（1）専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが25%（27人）、3. そう思うが48%（52人）、2. そう思わないが17%（19人）、1. 全く思わないが10%（11人）の結果となった。

（2）専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが26%（28人）、3. そう思うが49%（53人）、2. そう思わないが18%（20人）、1. 全く思わないが6%（7人）の結果となった。

8. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）の学びについて（1）～（5）の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答願った。

汎用力の観点は、

（1）大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

（2）大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

（3）大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

（4）大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。として、(1)～(5)の集計結果を図9に示した。

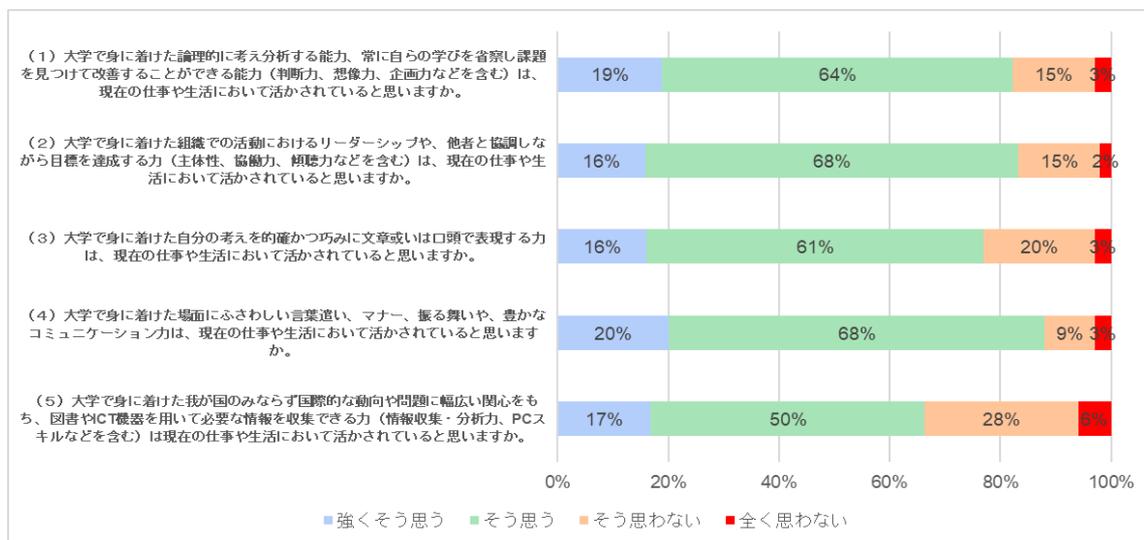


図9. 「8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて」の全体集計

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）が、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強くそう思うが19%（20人）、3. そう思うが64%（69人）、2. そう思わないが15%（16人）、1. 全く思わないが3%（3人）の結果となった。

(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強くそう思うが16%（17人）、3. そう思うが68%（73人）、2. そう思わないが15%（16人）、1. 全く思わないが2%（2人）の結果となった。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強くそう思うが16%（17人）、3. そう思うが61%（67人）、2. そう思わないが20%（22人）、1. 全く思わないが3%（3人）の結果となった。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強くそう思うが20%（22人）、3. そう思うが68%（74人）、2. そう思わないが9%（10人）、1. 全く思わないが3%（3人）の結果となった。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強くそう思うが17%（18人）、3. そう思うが50%（55人）、2. そう思わないが28%（30人）、1. 全く思わないが6%（6人）の結果となった。

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活において活かされていると思いますか、については、①大いに役立ったが12%（13人）、②役立ったが21%（23人）、③普通が37%（40人）、④役立たなかったが9%（10人）、⑤大学時代にもう少し能力を身につける努力が必要だったが20%（22人）であった（図10）。

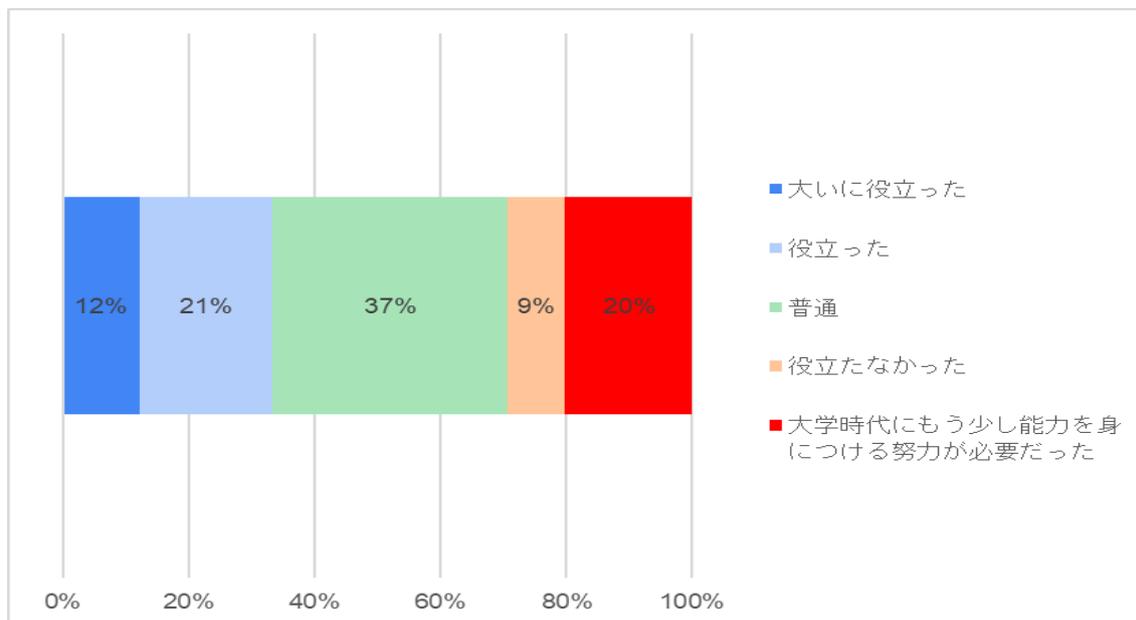


図10. 「9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていると思いますか」の回答割合

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述については資料として、各学科別に学生の成長できたと考える記載を原文のまま掲載している。

傾向として、今回の卒業生アンケートの回答した卒業生の多くは、大学生という時間の中で、それぞれに自己の変化について、文章化できる内容をもって実感できていることが理解できる。

考 察

令和4年度のアンケートは2015、2017、2019年度の卒業生973人を対象に実施された。回答数は110件で、解答率は11%と前回と同じであるが、実数は令和2年度の175件、令和3年度の119件と漸減し、学科ごとのDP達成度などを測るには十分な標本数にはならなかった。しかし本学学生の卒業後の意識や動向を把握する上で貴重なデータとなっている。対象者数を増やすなどの対応が今後必要である。

内訳についてはまず、「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いについて、大変満足している、または満足していると回答した者の割合が高い学科は、史学・文化財学科(90%)、発酵食品学科、国際経営学科、食物栄養学科、人間関係学科、国際言語・文化学科(53%)の順となった。わずかとはいえ、あまり満足していない、満足していないが、人間関係学科と食物栄養学科に1人ずついたことには留意して改善を心がけることが必要である。

次に「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったのですか(複数回答可)」の質問については、全体としては授業の内容に58.7%、資格の取得が44%、友人づくりが40.4%と多く、ついでゼミが32.1%、クラブ・サークルが31.2%、授業科目構成が30.3%と多くなっている。留学1.8%、インターンシップ1.8%が低く、今後改善が課題である。昨年度・一昨年度とちがい、自由記載で教員とのかかわりを挙げる回答はなかった。昨年度・一昨年度はあえて追加して教員との関係のよさを強調したい卒業生がいたことを示しており、少ない回答であっても肯定的に考えるべきかもしれない。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)」の質問については、全体として、専門知識56.5%、コミュニケーション力51.9%、協調性37.3%、行動力34.3%が数値の高い順で、過去2回の調査と同じ傾向となった。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の質問については、コミュニケーション力82.6%が最も高く、ついで協調性69.7%、責任感60.6%、積極性・主体性59.6%と続き、専門知識は38.5%と低い数値にとどまっている。過去2回の調査も同様の傾向であった。やはり慎重な検討が必要であるが、後述の7の設問と関係性があるろう。

「5. 卒業の進路は希望に沿ったものですか」の質問については、希望通りが26%、ある程度希望通りが49%となり、全体の75%が肯定的な回答であった。これは昨年度65%、一昨年度70%より漸進している。希望通りでない3%、あまり希望通りではない5%の数値も昨年度調査のそれぞれ4%、9%より低下している。

「6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについて」の「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、強くそう思う14%、そう思う71%の合計85%が肯定的回答である。

「(2) 本学の建学理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に2%、58%の合計60%が肯定的回答、「(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身につけ、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に12%、68%の合計80%が肯定的回答、「(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」については、同様に22%、57%の合計79%が肯定的

回答、「(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に5%、29%の合計34%が肯定的回答であった。卒業生に高く評価されているのは(1)(3)(4)であり、本学の教養教育の効果があることを示唆しているが、(2) 建学理念(建学の精神)が実感される状況はもう少し人生を踏んでからかもしれない。(5)については本学の卒業生の進路傾向にもかかわるかもしれない。

「7. 専門力(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて」「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、強くそう思う25%、そう思う48%の合計73%が肯定的回答である。「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に26%、49%の合計75%が肯定的回答である。このことと4の設問での専門知識の低い数値と考え合わせると、専門力はいわずもがなの前提として受け止めて、それ以外のさらに必要な能力として、4を回答しているということも考えられよう。

「8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて」「(1)～(5)の観点で、仕事や生活にいかされているかとの質問への回答は、(1)論理的分析能力と課題改善能力(判断力・想像力・企画力を含む)では、つよくそう思う19%、そう思う64%の合計83%が肯定的、(2)主体性・強調力・傾聴力などでは、同様に16%、68%の合計84%が肯定的、(3)文章力と口頭での表現力は、同様に16%、61%の合計77%が肯定的、(4)豊かなコミュニケーション力は同様に20%、68%の合計88%が肯定的回答であり、高い数値を示すが、(5)国際的関心や情報収集・分析力では同様に17%、50%の合計67%が肯定的回答でやや低めとなり、6(5)同様に、卒業生の進路傾向に関わるようにも見える。

「9. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか」の質問については、大いに役立った12%、役だった21%の合計33%が肯定的回答であった。卒業論文等が仕事や生活に具体的に直結しにくいことが窺われる。普通37%がもっとも多いこともあり、評価は慎重に考えるべきかと思われる。

6～9の質問は本学のDPとそれを実現化させるためのCP教育課程を検証する上で重要な質問となっており、今後とも注視してゆきたい。

10の質問については、具体的な指摘や示唆に富んでおり、各部署においても参考にして今後の改善に大いに役立ててゆきたいものである。

資料

「10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）」

【国際言語・文化学科】

- ・日々の課題の達成
- ・くじけそうになっても負けずと頑張ってやり遂げた。
- ・学園祭の実行委員の経験、教員免許取得、卒業制作
- ・サークルに入りサークル内のみならず、他サークルとの交流を行い、コミュニケーション能力等を身につけることが出来た。

【史学・文化財学科】

- ・考古学研究室（課外活動）を運営していくなかで、組織での活動におけるリーダーシップや、他者と協調しながら目標を達成する力が成長できたと思います。
- ・物事を多角的に考えることで様々な視点から問題解決に向けて考えることが出来る点
- ・友人達とのコミュニケーション能力であったり、専門性。
- ・サークル活動を盛り上げたいと思い、企画や広報活動に力を入れてました。特に広報活動に関しては、充実したサークルの部内誌を作りたいと考え、自ら編集長を志願し、編集に携わることになりました。ターゲットに合わせた内容作りや発行回数の増加、デジタル配布を行い、その結果当時のサークルを代表する発行物の一つとなったことが私の誇りです。以前の私では消極的で皆を引っ張るようなタイプではありませんでしたが、別府大学の温かい仲間にも囲まれ、共に力を合わせる事で大きく成長できたと感じました。今でも在学中の経験が自信となり私の力となっています。
- ・アルバイトを通して、様々な年代、人種、立場の異なる人々と関わることで、社会に於ける立ち振る舞いや礼儀作法等の実践的な経験を積むことができたと感じている。
- ・元々人見知りな性格でしたが、大学では同じ学科の人だけでなく様々な学科の人とも関わる事が出来たので、コミュニケーション能力や協調性を伸ばすことが出来たと思います。
- ・他者とのコミュニケーション
- ・一人暮らし、学業、アルバイトと親元を離れて生活することの大変さを知れたこと。
- ・コミュニケーション能力
- ・研究室活動、同じ志を持った幅広い年齢層の人達と関わり合うことは、毎回新鮮で刺激的であり、自分自身の成長に繋がった。向上心の有る者ばかりであったため、モチベーションにもなった。
- ・色々な役職の経験や、授業での活動によって、先生方や友人との関係性構築により、現在も連絡を取ったりしている。
- ・3回生の夏期休暇中に行った佐賀市の発掘調査です。（研究室の先生にアドバイスを受けた上で）自分で連絡を取り、1ヶ月程参加させて頂きました。アポイントを取るのも初めてで、何をやるにも緊張しました。現場のコミュニティが出来上がっている状態での参加なので、どうしたら打ち解けられるのか？誰から情報を聞きやすいのか？等状況を判断

しながらお話ししました。今の仕事は史学文化財とは関係ありませんが、営業職なので相手の立場になって考えたり、初めましての方と打ち解けやすい雰囲気を作ったりする事が必須です。大学時代の経験があるからこそ、今の仕事がスムーズに出来ていると思っています。18歳からの4年間を別府大学で過ごせて本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

- ・初めて県外での一人暮らしを始め、親の有り難みを感じたり、周りの人達の支えがあったからこそ4年間楽しく、有意義に過ごすことが出来たと思っています。
- ・元々消極的な性格で、周りに合わせて行動することが殆どでしたが、サークルの部長、大学祭の実行委員と文化会役員を経験して、話し合いの場で自分の意見をはっきりと発言できるようになりました。
- ・人間関係を築くのが苦手だったが、同世代以外とのコミュニケーションをとる機会も多く、抵抗もなくなり、今の職業に活きている。
- ・アルバイト経験

【人間関係学科】

- ・グループ学習やゼミでの話し合いから、課題を解決する上での他者との積極的なコミュニケーションの必要性を感じ、能動的に意見を出す事が出来るようになった。また、相違する意見をもつ他者の話を傾聴する事の重要性と、それらを己に取り入れてより多面的な視点を持つ事を学んだ。
- ・実習に行ったあとの報告会や、卒論ポスター発表などで、人の前に立ち自分の意見を発表する機会があり、頑張ればできるんだなと思えた。パワーポイントの作成の仕方が学べた。
- ・自主性が向上した
- ・高校生だった頃、引っ込み思案でなかなか自分の意見を言う事ができませんでした。生真面目で完璧主義だったこともあった為、間違えたことを言ってしまうと相手に良くないと思っていたからです。しかし、大学生活を通して自分の発言が間違っても、友人が教えてくれたり、話している間に自分の間違いに気づいて訂正したりすることができることに気づきました。それからは積極的に意見を伝える勇気ができ、友人と様々なことを話すことができるようになりました。

【食物栄養学科】

- ・病院実習や校外実習で現場を学ぶことができたのが、良かった。
- ・課題に対して取り組む精神的な強さが身についた。
- ・大学に入学する前の自分はテストでも赤点さえ取らなければいいという基準だったため、先生によって勉強する科目とそうでない科目を分けていました。指が痛くなるほど勉強したことはなく勉強せずにテストも受けていました。大学入学後初めての試験で私は単位を落としました。その時、大学は甘くない、自分に甘くすればするほど卒業できないし夢も叶わないと思いました。そこからタイムスケジュールを組み立てて何時間勉強する、わからないところは勉強できる子に聞くなどし、勉強に積極的になれたと思います。社会人となり、分からないこと知らないことを積極的に人に聞き、とにかく学ぶという姿

勢を心がけています。そしてタイムスケジュールを組み立てるという癖も学生時代につけていてよかったと感じました。時間毎に動く、何が優先順位なのか考えるというのは仕事を進めていく上で大切だなと感じました。ちなみに社会人になって少し後悔した部分で言うと、創造力と解決力があれば周りから信頼され仕事ができる人になるということに気づきました。この部分を学生時代に培っておけばよかったと感じました。

- ・アルバイトでの社会経験
- ・小児糖尿病サマーキャンプで調理技術が向上した。
- ・研究室活動
- ・棚田サークルでの活動
- ・何事にも全力で取り組むこと、自分がやるべきことを最後まで成し遂げること、仲間と協力して頑張ることの大切さを感じて、実際に行えた部分は成長できた所だと思います。
- ・管理栄養士に合格した
- ・管理栄養士資格取得のための学習は、知識を身につけるだけでなく学びに対する姿勢を身につけることができたと思います。また、グループで協力して作り上げる湯けむり健康教室の授業では、グループで一つのものを作り上げることの大変さと楽しさを感じることができ、他では得ることのできない達成感がありました。

【発酵食品学科】

- ・夢米棚田プロジェクトとトビタテ留学の機会を得て、行動と問題解決能力を身につけることが出来たこと、及び真理が我らを自由にすることが発見出来たこと。
- ・大学時代に様々な場所で人と関わることにより、少しずつ自分の意思を伝えることができるようになっていった。
- ・リーダーの経験をしたこと

【国際経営学科】

- ・在学中は自分なりに成長できていると感じていたがそれは勘違いで、就職をして全てが覆された。就職して先輩職員さん達と働く上で、マナーや言葉遣い、電話対応はもちろん、何かを率先してしなければいけないこと、先を見ながら物事に取り組むことなど多くのことを学び、また新人であった無知な自分であるにもかかわらず、たくさん迷惑をかけた事を思い返すと、まだまだ努力しなければいけないと日々感じております。気がつけば就職して7年目になり、場慣れして少し気持ちが緩んでいると感じて来ているので、就職して1年目の辛い日々を思い出しながら初心を忘れる事なく、日々精進していきたいと思います！
- ・目標に向かって挑戦できたこと
- ・サークル活動での主務経験

令和4年8月3日

別府大学
卒業生各位

別府大学
学長 友永 植

卒業生アンケートへのご協力をお願い

拝啓

残暑の候、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様のご卒業されてから、それぞれの就職・進路先において、ご活躍のことと存じます。

さて、本学では、卒業後社会に出られた皆様に、別府大学においての学びについて、ご意見を求め、今後の大学における教育の改善に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、皆様には大変お手数をおかけしますが、下記の卒業生アンケートに関するご案内をご一読いただき、ぜひ、ご回答をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 卒業生アンケート実施の目的

卒業生アンケートは、卒業生から、本学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、本学が提供する教育プログラムを改善することを目的に実施するものです。より多くの皆様のご回答をいただけますよう、お願いいたします。

2. 調査対象

2019年度・2017年度・2015年度卒業生

3. アンケート回答期限

令和4年8月17日（水）

4. 回答方法

URL、もしくはQRコードを用いて、インターネット上のアンケート回答ページへアクセスして、ご回答ください。

URL：<https://forms.gle/UqrdzjPJQR7qKn6m7>

<問合わせ>

〒874-8501

大分県別府市北石垣82

別府大学 キャリア支援課（満留）

TEL 0977-66-9623



以上

2022 年度別府大学卒業生アンケート

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

あなたの卒業された時期を教えてください。*

1. 2020 年 3 月卒業
2. 2019 年 9 月卒業
3. 2018 年 3 月卒業
4. 2017 年 9 月卒業
5. 2016 年 3 月卒業
6. 2015 年 9 月卒業

あなたの卒業された学部・学科を教えてください。*

1. 文学部 国際言語・文化学科
2. 文学部 史学・文化財学科
3. 文学部 人間関係学科
4. 食物栄養科学部 食物栄養学科
5. 食物栄養科学部 発酵食品学科
6. 国際経営学部 国際経営学科

1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

1. 大変満足している
2. 満足している
3. 普通
4. あまり満足していない
5. 満足していない

2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)。

1. 授業科目構成
2. 授業の内容
3. ゼミ
4. クラブ・サークル
5. 研究会活動
6. 資格の取得
7. 留学
8. アルバイト
9. ボランティア活動
10. インターンシップ

11. スポーツ
12. 留学生との交流
13. 友人づくり
14. 学園祭
15. 奨学金制度
16. 就職・進路指導
17. 学校の設備

その他:

3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力
2. コミュニケーション力
3. 専門知識
4. 行動力
5. 責任感
6. 積極性・主体性
7. 協調性
8. 表現力(プレゼンテーション力)
9. 自己管理能力

その他:

4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力
2. コミュニケーション力
3. 専門知識
4. 行動力
5. 責任感
6. 積極性・主体性
7. 協調性
8. 表現力(プレゼンテーション力)
9. 自己管理能力

その他:

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

1. 希望通り
2. ある程度希望通り

3. どちらともいえない
4. あまり希望通りではない
5. 全く希望通りではない

6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについて伺います。

(1)思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2)本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(3)多角的、総合的、複合的な知識を身に着け、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(4)情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(5)英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

7. 専門(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて伺います。

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて伺います。

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2) 大学で身に着けた組織での活動におけるリーダーシップや、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働力、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(4) 大学で身につけた場面にふさわしい言葉遣い・マナー・振る舞いや、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。

大いに役立った

役立った

普通

役立たなかった

大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だった

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

回答を入力

卒業生アンケートは以上となります。ご回答ありがとうございました。